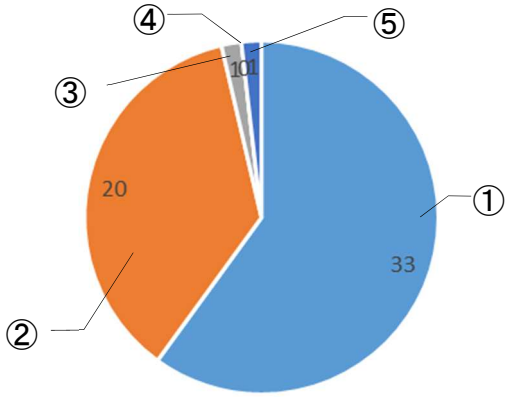
令和元年度広報議会モニターアンケートの集計結果

１．**実施日**　　令和２年２月１日（土）～令和２年３月５日（木）

２．回答者　　55 名

３．**アンケートの集計**

［問１］「一般質問」の掲載方法について、アンケートのご意見をもとに広報議会９月発行号より、登壇順の掲載から、項目ごと（行財政、福祉、教育など）の掲載に変更しました。どのように感じましたか。



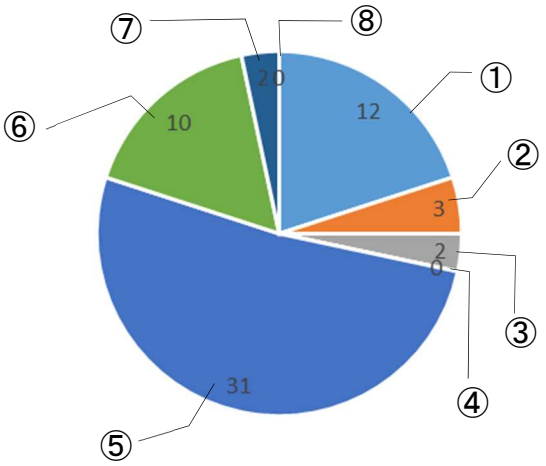
①	非常に読みやすくなった	33 名(60.0%)
②	まあまあ見やすくなった	20 名(36.4%)
③	変わらない	1 名(1.8%)
④	読みにくくなった	0 名(　0%)
⑤	その他	1 名(1.8%)

※　問１について、記述いただいた意見

選択式の回答	意見等
1（非常に読みやすくなった）	質問、答弁項目が色分けで読みやすい。
	議員の顔写真があり、身近に感じる。
	個人の関心・興味を持つ項目が見つけやすくなった。
	表紙の子どもたちの写真が可愛いらしくて良い。
	内容も字ばかりではなく、写真があって良い。
	項目ごとの掲載の方が整理されて読みやすかった。
	分野別、会派別がはっきりして良い。
	アンケートが反映された結果とは言え、採用する側の裁量の幅の広さ、すばらしい。
	質問内容がいくつかの項目に分けられることで、とても分かりやすくなったと思う。
	項目ごとになって見やすくなった。質問に対しての関係性が良く分かるようになった。
	項目があるとわかりやすい。
	分かりやすくなった。
	内容がなければ誰も読まない。内容が良ければレイアウトに関係なく読むはずだ。

選択式の回答	意見等
1 （非常に読みやすくなった）	項目ごとに掲載され、関連性があり非常に分かりやすい。項目ごとに議員の考えがわかる。
	項目別に分類するのは、読者の感覚からすれば当然ながら自分の関心が高いところを読みたいと思うわけで、登壇順よりとても読みやすくなった。
	順序良く並んでいて良くなったと感じた。ですが、以前の方が私的には読みやすいような気がした。
	掲載内容ごとに見出しも表示され、非常に見やすくなった。
2 （まあまあ読みやすくなった）	項目ごとに分けたというところは見やすいと感じた。
	色での変化をつけることでより目につきやすく、読みやすいのではないかと感じた。
	関連質問がまとまっていて、より分かりやすくなった。
	項目ごとに掲載を区分けしたことで読みやすくなったように思う。
	答弁について、一つの文が長いところがあるので、短くするともっと読みやすくなると思う。
	できるだけ簡易な文章で掲載し、読みやすくなった。
3 （変わらない）	モニターになる前は、あまり目を通さなかったので、特別な感想はない。
5 （その他）	「項目」に変更したことにより各分野別の取組の進み具合が分かるようになった。
	「健康と福祉」分野に大きな課題。スマートシティ構想の「市民の健康づくりを願い、医療費抑制と健康保険の財政負担減」を進めるインセンティブが必要です。

［問２］広報議会 11 月号・２月号を読んで、一番興味があった記事は何ですか。その理由も下記にご記入ください。（複数回答あり）



①	議案等の審査	12 名（20.0%）
②	請願・陳情	3 名（ 5.0%）
③	審議結果	2 名（ 3.3%）
④	討論	0 名（ 0%）
⑤	一般質問	31 名（51.7%）
⑥	市民との意見交換会の記事	10 名（16.7%）
⑦	傍聴について	2 名（ 3.3%）
⑧	その他	0 名（ 0%）

※　問２について、記述いただいた意見

選択式の回答	意見等
1 （議案等の審査）	新庁舎整備や少子化対策、子育て支援体制についての記事があったため。
	今の会津での問題がしっかりと審議され、確かな回答が得られていて、信用性が高められている。
	課題解決に向けて行われている活動の写真を掲載することで、要望に応えている姿が見えてとても良い内容であった。
	2月号の史跡若松城跡ライトアップ事業：市のシンボルである鶴ヶ城の観光客の増加は、市全体の観光客増加につながり、夜の魅力を宣伝するためにはライトアップは必要不可欠である。桜の時期のライトアップは桜と鶴ヶ城の一体感を楽しめ、売りになると考える。
	市の大きな予算の使途について大枠で今後を予測できるので、一番の興味となった。
	市政について、具体的な内容で理解することができた。
	定例会の内容がわかりやすい。
	市で行われてることがさまざまな分野ごとに書かれているため。
	市が取り組んでいる、取り組もうとしている概要を知ることができる。
	写真・表・図などが入っている方が目につきやすく、忙しい中でも中身に興味を持てた。
	市民要望等の審査の可否の概要が分かりやすかった。
	介護や福祉についての記事があったので、とても興味を引いた。
	春のライトアップは大変良いと思うが、秋のライトアップは入出もなく、さみしい限りである。秋のライトアップの予算を城内の防犯灯設置等にあててみてはどうか。
2 （請願・陳情）	さまざまな請願・陳情や要望がなされているが、紙面上でどのような個人、団体が要望しているのかが不明である。
	議会を見ないと請願・陳情がどのようなものが出されているかわからないので、興味がひかれた。
	議会、役所により発議されない議案、事柄は住民はいかがすればよいかについて関心があった。
	若松市では請願・陳情と言う手段があり、大変参考になった。
3 （審議結果）	市民要望に対する優先順位の考え方。
	地域防災について。
5 （一般質問）	各会派が、同一項目に質問しているのが良いと感じた。
	生活に密着した、将来の展望、市民の安全・安心のための質問はありがたい。
	各議員の考えが分かる。
	答弁に、「考えています」が多いが、期限を切った答弁は出せないのか。これでは、物事が前に進まない。

選択式の回答	意見等
5 （一般質問）	分野別に質問、提案がされており、今後の方向性を知ることができる。
	質問対し、丁寧に資料を用いて答えており分かりやすかった。
	質問の項目が興味深いものばかりで面白かった。
	県立病院跡地や日新館移転、日光からの観光誘客策など、今話題の案件が取り上げられている。
	市内の高齢者のためにシルバー人材センターがあるのはとても良いと感じたし、具体的な取組についても知ることができたから。
	問題になっている高齢者の免許返納についての記事が印象に残った。会津では車がないと移動が困難なので、タクシー利用助成事業はとても良い。加えてバスや電車の利用も普及すると良い。
	一般質問の記事はいろいろな分野の話題に触れられていたから。
	教育・文化の分野ではパラリンピックや各学校のこと、生活・環境の分野では災害時におけることについて書かれてあり、とても身近なことだったので興味を持って読むことができた。
	一般質問については、自分が若松市で生活する中で不意に疑問に思う内容の質疑もあり、唯一身近に感じた。
	質問の内容が市民的視点に立っており、タイムリーなものが多くつい読んでしまう。
	議員が市民の声を市政に反映させるべく考えていることが見えてくるのは、一般質問であると思う。
	市庁舎建設や県立病院跡地問題で多大な予算が必要とされる計画があり、反対意見があるのに、日新館移設の話が出たことは驚きであり、実現を進めますという当局に対しても首をかしげる。
	議員個人としてさまざまな意見があることに驚いた。市をもっと良いものにしたいという気持ちが素晴らしいと思った。
	それぞれの議員がどんなことを聞いているのか分かった。議員のグループがあることを知った。
	個々の議員の活動が見える。
	日頃気になっていたことを議員が質問し、一般質問を通して自分では気づかなかった問題が分かり、とても興味を持った。
	はじめて知ったことがたくさんあり、細かいことも議論していておもしろかった。
	私たちが受ける教育が今後どのように変わるか知ることができるから。
	「生活・環境」で、今回の台風19号における災害時の情報（水位・雨量・馬越観測所）が地域で見られる、そして、自分が警報レベルに応じた行動がとれるよう取組が早急であること。
	身近にあるダム（大川・東山）について、その機能を良く知っていることが大事であると思う。
	桜の時期にお濠で遊覧船を運行するなど、観光誘客に投資していかなければ、進歩も発展もないと思う。
	市の現在の課題や、議員が市民の意見を反映していることがよくわかる。また、市の考えや、取組が知ることができる。

選択式の回答	意見等
5 （一般質問）	写真・表・図などが入っている方が目につきやすく、忙しい中でも中身に興味を持てた。
	市の考え方が詳しく記載されていて分かりやすい。
	市政に対する会派・議員個人の問題意識がわかり、興味深く拝見している。
	傍聴もしたが、質疑は限られた時間とはいえ、当局の通り一辺の答弁に対し、突っ込みが足りていないのではと感じた。
	空家等対策計画課題について、不動産会社所有の空家等は町内会へ協力金とかできないのか。
	実現性に乏しい質問内容が多いように感じられる。例えば、学校施設の整備も大事かと思うが、教育関係者は、教育の荒廃の改善が一行に進んでいない現実を直視する必要があると嘆いている。
	地域の課題を市民が選んだ代表者がどのように捉え、質疑に対して行政がどのように考えているかが一番重要だから。
	たくさんの案件を各部会ごとで、地域の目線に立って聞きたいこと、知りたいことを質問している。
	各議員並びに所属する会派がとらえている問題点と考察点についてよく分かるから。また、同時に市の対応方針が分かるから。
6 （市民との意見交換会の記事）	県立病院跡地や日新館移転、日光からの観光誘客策など、今話題の案件が取り上げられている。
	私の身近なところに関する意見があり、どのような対応を考えているのか知ることができたから。
	各地区それぞれの意見が出されて、有意義なものとなっていると思う。
	各地域によって意見がなされ、そのことが網羅されており、各地区の現状が理解された。
	自分の発言に対しての回答が記載されていた。
	知らなかったため、地域ごとに開催されていることに驚いた。
	どのような意見が出ているか分かって、とても良かった。
	回答や事後処理結果についても掲載されているので、実態やそれに対する対応が分かり、市政の動きが把握できた。
	市民が議会側に対して、どのような関心を持っているのか興味が注を注がれたため。
	参加者が少ないのが残念だが、この場で提案した件については議員にも理解していただける。
	定期的に実施しているものだが、毎回掲載されているものではないため、「いつもと違う」ことで興味を持った。
7 （傍聴について）	傍聴した方の感想もあり、とても読みやすかった。
	2月号の本会議を傍聴された方の感想が身近に感じられて良かった。
選択回答無	住民の意見を代表して発言することにより、広報紙をたくさんの人が読むようになると思う。

［問３］広報議会を多くの人に読んでもらうために、どのようにすればよいと考えますか。その理由をご記入ください。（記述式）

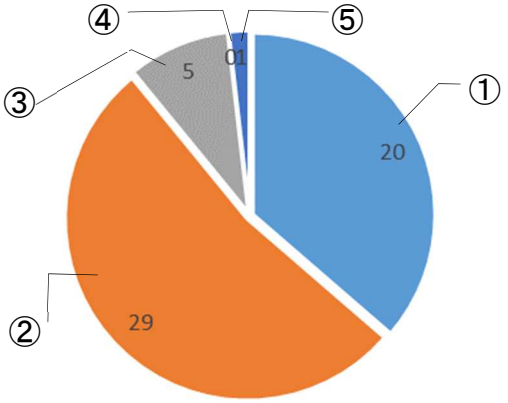
区分	意見等
紙面づくり	全般的に硬い。議会報告中心の発信のみでなく、季節の話題や市民活動の紹介など、柔軟な紙面作りを考慮するべき。
	幾度も賞を受けている市政だよりの編集者の意見を参考に、紙面づくりに工夫を加えてはどうか。
	市民ニーズにあった話題を取り上げる。
	ページが開くと文字が多く、とっつきにくい印象を受けた。もう少し写真や図を増やしても良いのではないか。
	一般質問や意見交換会の主な意見の内容を目にとまりやすいところに掲載して、市政に興味を持ってもらえるようにする。
	市民の生活に身近なテーマを取り上げて特集記事として掲載し、関心を持ってもらう。
	読んで理解しにくい言葉、言い回しがあり、もっと簡潔でわかり易い文章にできれば良いかと思う。
	20代、30代の皆さんの生活の不安や不満にスポットを当てたタウンミーティング等を行い、特集を組んだりするのも良いと思う。
	表紙と内容が一致していない。
	専門用語の説明を入れるといいのかもしれない。（説明があるものもあるが、わからない言葉が含まれていることがある。）
	市政だよりのような色合い、レイアウト（横書きが多いような）にしてみるとか。親しみやすくなるのではないか。
	お年寄りの方々が読みやすいように、もう少し文字を大きくする。
	表紙に「学校給食費を公会計すべきか？」などと内容のタイトルを載せる。
	広報議会にもう少し情熱、熱気の在る記事が欲しい。
	ページ数や内容を変えるのは難しいので、この取組や内容が若い人にも必要だと思わせる工夫がほしい。
	分かりやすくなった。すべての項目を掲載しないで重点項目に絞ればより良くなると思う。
	1番は読みやすさだと思う。以前と比べ、写真の挿入やレイアウトの工夫で読みやすくなった。更に読みやすくするために、答弁の1つの文章が長いこと、表現が硬いことを解決してはどうか。
	地域住民に寄り添った身近な内容のものを少し取り込んではどうか。
	市民との意見交換会の内容なども、「○○の地区からこのような意見等が出された」などと詳しく掲載することによって、読む側の興味をそそるような記事になるのではないか。

区分	意見等
紙面づくり	2月号のように、市民との意見交換会の報告や議会傍聴の感想など、市民目線での記事が盛り込まれることで、より身近に感じ、多くの方に手に取って読んでもらえるようになると思う。
	内容盛りたくさんで充実した記事内容だが、赤色囲いが多く紙面に集中できない。赤色囲いが多いと何が重要で何を読んでほしいのか。
配布方法	現況の配布方法で良いと思うが、地区の回覧版方式を試してみてはどうか。
	小・中学校や高校の生徒にも配布して、直接手に届けるようにするのはどうか。家に届けるだけでは、届いていたことに気付かなかったり、読む機会がないことがあると思う。
	公共施設や市内の店舗に広報紙を設置する。(バス、病院、図書館など)
	ダイジェスト版に少し解説を付けた記事にし、関連する団体や個人にダイレクトで送付するなど、情報提供の仕方を工夫してはどうか。
	コンビニに多少設置すれば目を引くのではないかと思う。
	議員が「広報議会」を持って回ることも必要だと思う。議員が市民とかかわる場をたくさん作ることが大切だと思う。
	個人宅だけでなく、事業所にも配付してはどうか。事業従事者や来客者が読みやすくなるのではないか。
	従来の各戸配布と、人が多く集まる施設等へ設置を依頼してはどうか。
	学校や公共施設などにも設置したほうが良い。
	市政だよりに紛れて配布されるのでどうしても埋もれてしまい、家族もあまり読もうとしない。もっと市政だよりのように大々的に配布すれば良いと思う。
広報	インターネットでも広報議会が見られることをPRすれば良いと思う。
	議会は「むずかしい」というイメージがあると思う。広報議会以外の方法でもっと分かりやすく周知する。
	英語、中国語などの外国語verはあるのか。PCで見てみたが、PDFで他言語は見られなかったので。
	議会のウェブサイトでURLとテキストを開いて読んで編集するためのインターフェースを提供してはどうか。
	広報議会を2か月に1回で出す。
	広報紙は大変良く作成されているので、まず市民に市政への関心を持ってもらうことが必要と思う。そのため、HPや電子媒体を活用し、広報することも必要と思う。
	配布方法も多様に対応されていると思うが、なかなか目にかけない。周知方法を再検討されたい。
	紙面だけでなく、SNSなどを活用してより多くの市民に議会の開催時期などを周知していくべきではないか。

区分	意見等
新たな取組	若いうちから市政に関心が持てるように、年に一度でもいいので、中・高校生向けの広報があっても良いと思う。
	学校の総合学習の時間に、広報議会で話し合われていた議題について、生徒たちにも意見を出し合ってもらう。
	広報議会モニターのように、住民の方々だけでなく、学生にも目につきやすいように学校を利用したりすると良いと考える。
	学校の社会の授業など、社会の問題をとりあげるところで活用できると、より多くの子どもたちが福島の未来に関心を持てるようになると考える。
	多くの人(特に若者)が自分が住む市や町のことについて興味を持ち、そして議会はどう対応しているのかなどを知ろうとすれば自然と広報議会を読む人が増えると思うので、学校で地域や議会のことを考える時間を設ければよいと思う。
	各地域の区長から他の団体での事業懇談会の場で、広報議会を取り上げて話題にすることで啓蒙が高まり、多くの人に読んでもらえるのではないか。
	広報議会の最終ページにアンケート用紙をつけてほしい。(抽選で市の行事の招待状でも差し上げるなど)
	一般的な議題で、市民に有用な情報を提供する。その方法は、議会の活動に焦点を当てた議会のダイジェストを提供する。
	一般質問をアンケートで市民に募集し、興味をそそるようにすればよいと思う。
記事要望	今までの市民からの意見の対応の成果を少しのスペースでも良いので掲載する。
	市役所提案の議案は全立法の何パーセントになっているのか、議員提案の議案は全承認議案の何パーセントあるのか知りたい。
	例えば文化センター、稽古堂、鶴ヶ城体育館、博物館などの駐車場及び駐輪場の利用について不便をきたしているため、市民を交えて具体的に話し合う場を持つことができないかなどの、身近な問題を取り上げてほしい。
	個人的には、議員の方々が行かれている先進都市の紹介などが見てみたい。
傍聴	開かれた議会にすべきだと思う。市議会は国会より市民に身近という長所を生かし、どれだけ市民を思って活動していても、議会が傍聴しにくい雰囲気だと伝わらないと思う。
	新庁舎となる際は議場を重厚感を持ちながらも、明るい雰囲気にし、傍聴席を増やし、市民が議会に関心を持つことが、広報議会を手にとるきっかけになるのではないかと思う。
モニター制度	いろいろな人がモニターになり、いろいろな人に知ってもらうといいと思う。
議員	市議会議員自身、実力を身に付けてもらいたい。

区分	意見等
広報紙全体	周囲の人に読んでいるか聞いてみたが、チラ見を含み、ほとんどの人が目を通しているようです。
	広報紙のあり方は、今のままで良い。
	質問と答弁が充実していれば、読みたくなると思う。
	会津をこんな風にしたいし、するんです。誰が、、、実は皆さんが決めるんです。そんな場、そんな会報にしたいですね。
	政治に関心が薄いとされる若い世代の方に興味をもってもらえるようにしたらどうか。
	市政だよりは直接関係があるが、広報議会はあまり関係ない人が多いと思う。
	市政だよりは良く読むが、議会広報はやはり難しいのかな、関係ないのかなと感じることがあると思う。
	現在のままで良い。読む読まないはその人の意識の問題。
	アンケートなどを踏まえて、工夫している様子が見える。
	紙面には限りがあり難しいと思うが、臨場感が伝わるものにすれば読んでもらえるだけでなく、議会を傍聴する市民も増えるのではと思う。
その他	議会は議員にお任せで、選挙の時だけ関心があり、終わればあまり関心がない。
	議会が読み手に期待を持ち続けることも一つと思う(ピグマリオン効果)。また、議会の広報が市民に読まれていないなどの思いを続ければ、消極的な期待通りとなってしまう。
	市議会で丁々発止の議論をし、その内容を広報議会で報告すれば読むなと言っても読むと思う。
	区長や地域の団体等に関わりを持つことで、議員と公の場等(意見交換会など)で直接話すことができる。直接話した議員は議会でどんなことを発信するのか気にしてみることができる。
	若い世代に、政治、経済、行政などについて、興味や関心を持つような活動をしないと地域離れをし、議員の苦労が分からないと思う。
	現在どの位の人が読んでいると考えるのか。どの位にしたいのか。議員が少ないと考えてのことか。

［問４］広報議会モニターへのアンケートを２年間実施してきましたが、広報議会はわかりやすくなったと思いますか。その理由も下記にご記入ください。



① 非常にわかりやすくなった 20名(36.4%)
② まあまあわかりやすくなった 29名(52.7%)
③ 変わらない 5名(9.1%)
④ わかりにくくなった 0名(0.0%)
⑤ その他 1名(1.8%)

※ 問４について、記述いただいた意見

選択式の回答	意見等
1（非常にわかりやくすなった）	常に読者の視点を意識している。
	傍聴してみたいと思い始めた。
	二色刷りや分野別の記載など、回を重ねるごとに見やすくなった。
	アンケートの後に広報紙の内容が変化しており、意見を反映していることが嬉しかった。とても分かりやすくなった。
	編集する側だけでなく、読み手の視点からの問題点を把握し、改善されたから。
	一般質問の記事では、分野別に並べることで、知りたい内容の記事を見つけやすくなったと思う。
	アンケートをもとに改善されていて、非常に分かりやすくなったと思う。
	広報議会が回を重ねるごとに見やすく、より分かりやすくなったように感じた。
	レイアウトの変更などを通して、一目で何が書いてあるかが良く分かり、毎回、読むスピード、内容の理解度が上昇していったように感じた。
	2色刷りになったことで、非常にわかりやすくなった。
	レイアウトのバランスが良いので見出しを見て、全体を見て、詳細な解説を得ることができる。
	読みやすい最新のコミュニケーションツール（二次元バーコード、スマホ）を使って、若者や関心のある人への情報発信する。そのツールを使いきれるよう、市の職員をリーダーとして学習会が必要かも。
	広報紙として読み易くなったのは、カラーの色使い・写真の掲載等がより工夫されたためだと思う。
	Q&A形式の表現と網掛が見やすく、段組みと文字の大きさ、行間が美しく思う。
	一般質問の議員一人ひとりの顔写真がいい効果を生んでいる。

選択式の回答	意見等
1 （非常にわかりやくすなった）	文字が大きくなり、構成、内容がわかりやすくなった。
	大切なところは太字で書いてあり、色もついているので読みやすくなった。
	アンケートを取ると言う姿勢は高く評価でき、トンネルの先に光明を見る思いがする。是非続けて欲しい。
	大変わかりやすく、見やすくなった。工夫、努力が表れている。（項目ごとに掲載、表記が簡潔、討論も賛否もわかりやすい）
	広報議会にすべてを掲載しないで、大事な内容だけを掲載して発行すべきではないか。
	毎年、内容説明とともに配布にお越しいただいている。非常に分かりやすい。
	議会用語を紙面下で解説したり、二次元バーコードを載せたり、議員の写真を載せたりすることで、読みやすく分かりやすくなった。
	元々は色が白黒で読む気にもならなかったが、カラーになり親しみやすくなった。中の写真やイラストなども白黒でなくカラーだともっといいと思う。
2 （まあまあわかりやすくなった）	表紙に子どもの写真が掲載されていることが、議会の硬いイメージを柔らかくしている。
	色彩も季節感がある。
	メリハリが出てきた。
	文字の配列や色の変化、区切りをつけて見やすくなるのが、行うたびに分かっていった。
	今後も改善点などを見てくれる人への意見を取り寄せ、市民全員が見るような広報議会を作ってほしいと思う。
	絵や写真などの工夫も凝らせるとより良いと思う。
	もともとわかりずらくはなかったのであまり変化は感じられないが、文字の書体や記事の掲載を工夫することで、少し分かりやすくなったと思う。
	多様な議論や質問の内容をわかりやすくカテゴライズ整理して、見やすく表現することができてきた。
	見やすさとか読みやすさを考えて作っているので、ある程度わかりやすくなったと思う。
	モニターになる前はほとんど目を通さず、関心も持てなかった。広報議会を読む事で、市と市議会議員が何に目を向けて討論されているのかが良くわかるようになった。
	モニターとなり広報議会を読んだことにより、興味を持つようになって、だんだん理解できるようになった。
	色分けがしてあったり、二次元バーコードも入ってわかりやすくなった。
	色使い、写真、挿絵を入れることで見やすくなったと思う。
	色分けされたこと。

選択式の回答	意見等
2 （まあまあわかりやすくなった）	モニターの意見が生かされ改善されてる。
	項目ごとの見出しは読みやすくなった。
	文字が見やすい大きさに変わってきている。
	議会のことについて少しづつ分かりやすくなっている。
	広報の編集に工夫が各所にみられる。今後は直してほしい点がそう見当たらない。努力のあとがしっかりと分かる。
	議会として分かりやすくは当然で、何を一番に市民に伝えたいのか、そして、質問のやり取りは分かるが、質問力の高さがほしいという所が多数あった。
	内容が濃くなったと思う。
	会派、写真が掲載されていてわかりやすくなった。
	アンケート結果をもとに改善している様子が見える。
	絵や写真が多い方が読みやすい。
	読み手側の立場で編集しようとする姿勢で、毎回工夫・改善が心がけられ、読みやすく、分かりやすくなったと思う。
	編集者は読んでもらおう、読んでもらいたいの思いが強くなってきていると思う。
	ページの記載について、「あいづわかまつ広報議会 2.2.1(2)」ではなく「P2」と大きく表示した方が探しやすいと思う。
	意見によりいろいろ工夫され、分かりやすくなった部分もあるが、全体的な構成やレイアウトに大きな変化はないので、モニター以外の方は変化に気付かないかもしれない。
	各カテゴリーごとのイラストや色分けなどで読みやすくなった。
	文字体などが見やすくなった。
	議会モニターからの意見も紙面作成によく反映されていたと思う。
3 （変わらない）	全般的に硬い。議会報告中心の発信のみでなく、季節の話題や市民活動の紹介など、柔軟な紙面作りを考慮するべき。
	幾度も賞を受けている市政だよりの編集者の意見を参考に、紙面づくりに工夫を加えてはどうか。
	モニターになるまで、表紙の写真を見る程度だった。見やすくなったと思うが、なかなか頭に入ってこない。
	少し文字が多いように感じた。内容は分かりやすかったと思う。
	議案等が件名のみで、内容が伝わっていない。
	質問者の氏名は公表されているが、答弁者の氏名が公表されていないことに疑問を感じる。答弁者が判ればどの課がどのように携わっているか理解が深まるのではないか。
5 （その他）	今回のアンケートが初めてなのでわからない。

［問５］広報議会モニターとしての活動を通して、議会に対する考え方はどのように変わりましたか。（記述式）

区分	意見等
議会に対する感想	身近に感じるようになった。
	広報議会を通して、市民に親しまれ、より良い議会にしようとしている努力が伺える。
	傍聴席がいつも満席になると良いですね。
	どうしたら、市民に関心を持ってもらえるのか。難しい課題ですね。
	今までは、興味がなかった。モニターとして活動して、会津若松市をより良くするために議会がさまざまな提案、議論をしていることが分かった。
	市民との意見交換会を開催したり、議会が傍聴できたりと、市民との距離が近いことが分かり、良い印象を受けた。
	「自分に関係のないもの」から、「意外と身近にあるもの」に変わった。
	以前は少し距離感があったが、今は市民ニーズを汲んで取り組んでいると失礼ながら実感した。
	少し気になるになった。
	今まであまり目を通したことがなかったが、モニターになったことで市議会でどんなことが問題視され、それについてどんな議会が行われているのか知ることができたので良かった。
	モニターを行うまでは興味が持てなかったが、実際に広報議会を見てから福島や会津の抱える問題に興味を持ち、自分も将来、地元の課題解決に携わりたいと考えた。
	今回この活動を通して初めて広報議会を読んで、会津若松市の取組についてより知ることができた。
	市政だけではなく、広報議会にも市民の意見を取り入れ、より良くしていく活動から、市民ファーストに努めていると感じた。
	何をどのようにどんな場所で話し合っているのかが分かりにくく、今まで議会は、あまりなじみのない空間でした。今回議会モニターの活動を通して議会へのイメージが変わりました。
	昨年から選挙権を持つようになったことで、より議会が身近に感じた。
	この活動をする前は議会がどのようなことを行っているのかが分からなかったが、記事を読んで議会の活動が具体的に知ることができた。
	広報という後回しになりそうなところにも、力を入れていることを知って好感が持てた。
	モニターの意見を次号に取り入れ細部までこだわる姿勢が素晴らしいと思う。
	色々、意見やアイディアを助言していきたいと考える。

区分	意見等
議会に対する感想	議会に興味を持つようになった。
	案件に対しての議会の存在意義。
	モニターとなって議員との会話が増えて、議会に対する考えが変わった。
	議会に関して良く知ることができるようになった。今までざっくりと見ていたが、モニターになってよく読むようになった。
	議会に興味があれば広報紙にも目を通すと思う。仕組みがあるのでとても良い。
	傍聴や地区の意見交換会にできるだけ出席したい。
	変わらない。
	議会に対して関心を持っていなかったが、モニターになってからは、広報議会を最後まで目を通すようになり、少しづつだが関心を持つようになった。
	議会というと難しいことを議論しているのかと思っていたが、市民のごく日常に関わることについて議論してくださっているのだなと思った。
	議会のことは最初は難しいだろうと考えていたが、見ているうちに市の「まちづくり」について興味が出てきた。
	今までは興味がなかったが、将来会津若松市がより良くなっていくために大切なことがたくさん載っていたので、読もうと思うようになった。
	議会が市政のどの方向に取り組んでいるのか、今回は特に分野別に区分されたので、ねらいが分かり関心が深まった。
	議会に対して広報紙を読むようになった。
	モニターをする前は議会に対し余り関心はなかった。しかし広報議会を精読するようになり関心が高まり理解も深まった。モニターを募り意見を求めることは議員にとっても市民にとっても非常に良いことだと考える。
	以前より関心を持って見るようになった。
	工夫改善され、年々わかりやすくなっており、議会の市政への取組の真剣さが伝わる。
	市がどのような課題を抱え、どのように取り組もうとしているかを、知る機会となった。
	普段は目に見えにくい市の取組を実感することができる。
	多方面にわたり市民意見を聞いて、問題点を提出していると思う。
	身近に感じるようになった。
	広報議会を読むことによって、市の動き、議会の動きが分かるようになった。
	一度くらいは議会傍聴と思ったが体の具合が悪く、行けなかった。
	少し興味が持てるようになってきた。

区分	意見等
議会に対する感想	議会での質問や意見交換会などによって、市民が市に対して意見を出したり、それによって改善されていることが分かった。
	モニターになる前は簡単にしか読んでなかったが、議会ではさまざまな議論がされ、生活の改善につながっていた。
	特段変わらない。
	年に1度傍聴しているので、更に広報議会を読むことで、議員の取組が分かるようになり、興味を持てるようになった。
	モニターになる前は何のことかわからなかったが、モニターになってからは興味が湧いてきた。
	もっと異次元の世界だと思っていたが、とても身近な存在だと感じ、もっと選挙等に積極的に取り組みたいと思った。
記事内容	田島からの東武鉄道の直通が進展していないのが残念である。
	磐越に新幹線の乗り入れという夢の話もあるが、雪国会津の発展には欠かせない視点だと思う。
記事要望	議員が参考としているデータ表なども載せて欲しい。議員は市側の提供するデータを読み込み、自分の考えによる分析を加え、解釈を施しているはず。
モニター制度	受験の時期に重なってしまったので、次回はもう少し早い時期にアンケートを実施した方が良いと思う。
	広報が市政だよりに入っていると見るようになった。なのでいろんな人がモニターになることがいい。
議員	議員が普段何をされているのか少し分かった。
	市民の事を思って活動をしている市議会議員の努力や情熱を感じました。
	市議会の活動範囲は幅広く、専門知識も必要で、議員としての資質向上は大変なことだと思う。
	議会を傍聴した折、女性議員の少なさを実感しました。
	住民の思いを公平に反映させる為にも、老若男女の構成が議会にも必要なのかと思う。
	特に変わらない。議員の方には今まで以上に市民ファーストで、市民目線で活動を続けてほしい。
	市民の関心が高まることは、議員にも刺激になり双方に取り良い結果をもたらし、若松市全体の未来に寄与することになると考える。
	毎回、当局提案のほぼすべてが可決承認というのは、それほどまでに市職員が優秀なのかとも思うし、また、議員が本当に責任を持った判断・態度なのかと疑問にも思う。
その他	市政発展のため質問項目は限りなくあると思うが、喫緊の課題を見極めて対応してもらいたい。
	議会モニターとして、議会見学を数回した。議員からの質問に対し「検討する」「今はこのような事由でできない」等とあいまいな答弁ではなく、はっきりとできない理由を述べ、市側の問題点を議員と共有する方向で答弁すれば広報を読んだ市民は、市の抱える実態を理解できるのではないか。

［問６］最後に、広報議会に対する自由なご意見をご記入ください。（記述式）

区分	意見等
紙面づくり	議案等の審査、議案第〇号の部分が色によって見えにくい。
	議会等の審査のページの囲まれた灰色の文字が太すぎて見ずらくなっていると思うので、もう少し細くした方がいいと思う。
	表紙は子どもたちの笑顔が輝いているのでとても良いと思う。
	以前に比べると写真や色使いなど、工夫されていて見やすくなった。
	表紙に子どもたちの写真を使うのであれば、今後子ども議会などを積極的に行うべきではないか。それができないならば、議会風景の写真を使うべきではないか。
	内容がいっぱいありすぎる感じがする。しかしながら紙面構成等に工夫が見られ、苦労されている様子が伺われる。
広報	20代、30代の知人にたずねたところ、半分が広報議会を知らなかった。発行していることの広報方法を見直してはどうか。
新たな取組	議会が良くなるなら議員を退いた先輩議員に意見を聞く機会を作るなど(予算をかけないで)、協力する方は大勢いるのではないか。
記事要望	左右両サイドの評論家のコメントがあったら面白い。
	行政の立案と議会との討議で、どのように変化したかもっと知りたいと思う。
	少子化対策の取組について、「今後も正確に見極め、反映する」という答弁が多く、何も進展していない印象を受ける。市として「安心して3人産めるお金の再分配」を広報紙で見える化して欲しい。
	議員が取材して掲載する「議員まちある記」なんてはいかがか。先進地視察報告や各委員会報告なども読んでみたい。
	各議員がこれから議会をどうしていきたいのか知りたい。
一般質問	一般質問について、質問の意図が抽象的すぎる。もっと、問題意識を持って明確な表現にすべきと思う。
	一般質問について、編集上の問題なのか、議員の言葉使いに忠実なのか、ある程度、表現する言葉を統一したほうが良いと思う。
モニター制度	2年間モニターをやっただけでも広報議会の内容がとても良いものになったと感じたので、これからも続けていくべきだと思う。
	これからは市民の声をより多くとり入れるために年齢層を広げて行くことが良いと思う。
	今後もこの活動を続け、より分かりやすく、より読みやすいものにして、多くの市民に今の市政について理解してもらえるようにしてほしい。
	モニターの応募資格の年齢をもう少し上げた方が良いと思う。
	これからも市民モニターから意見を出していただき、そのことを反映してもらいたい。

区分	意見等
市民との意見交換会	意見交換会の会場アンケートの中に、「主婦の参加が少ない理由は時間的な問題があると思う」との意見があった。女性の参加が増えるよう、開催時間帯（夕方や夜でなく）を考慮して設定してはどうか。
	昨年11月に実施された、市民との意見交換会に日程があわず、参加できなかったことがとても残念でした。
議員	地方議員は我々の日々の暮らしに直結する課題に対し、議論し、道筋をつける重要な仕事をしている。
	討論する議員は毎回同じような感じで、もっと多くの議員が討論した方がわかりやすくなるのではないか。
広報紙全体	この広報議会などを活用して、選挙に出ることを考えるような若者を増やしていってほしい。これからの会津の問題に関わるうえで若者の声は欠かせないものであると考える。
	広報議会で興味をひかれる記事も多かったので、これからも広報議会を読んで会津若松市の活動について知っていけたら良いなと思った。
	これからも広報議会は続くと思うので、試行錯誤をくり返して見やすく分かりやすい広報議会を作り上げてほしい。
	広報紙を作ることは大変だと思うが、新しいメンバーも入って、これからの新たな変化を期待している。
	こんなに立派な広報紙を作っているのに、市民のどれくらいの方が読んでいるのか。
	広報により、議員の考え方、市の取組、現在の市の課題が簡潔に伝わり、ありがたい。
	今後も、興味を持って読んでもらえるよう工夫改善に努めてほしい。
	広報紙を発行することは市民に対する義務だと思うし、編集に携わる方々は大変だと思うが、更なる工夫・改善に心掛けてほしい。
	広報議会によって興味を持っていただき、実際の議会の傍聴等につながれば良いと思う。
	この広報紙は、市議会の活動を市民に伝える大切な手段として必要なものであるため、これまでどおりこれからも伝え続けてほしいと思う。
	広報議会を読んでもらうには、市民に各議員のことを知ってもらい、興味を持つようになることが必要ではないか。人に興味を持ては、その人がどのようなことをしているか知りたくなると思う。
その他	議員の看板が選挙期間以外も年中設置されているが、観光会津若松において、本数を規制するなどの対応が必要ではないか。景観を損なっている。
	議会活動は先進的なのに、意外と市民の評価が低いのは何故か。
	政治は難しいもので、一般市民には馴染みのないといった考えが根強いのも正直なところである。
	政治は生活であることを理解してもらうために、地道な努力を重ねることが政治に関心を持ち、結果として広報議会に目を向ける機会が増えることになると考える。

区分	意見等
その他	内容が内容だけに、市政に関心無ければ、特に若い人には読んでもらえないかなと思う。
	モニターをさせていただき、私自身も知ろうとしなかったと、自分を振り返りました。
	教育でもこれからどういう課題・問題が出てくるか予想がつかないが、問題を見つけてこれを解決に結びつく力を身につける必要があると思う。
	何が本物なのか見極めるのは難しい。ネットでは特にそう思う。
	AI、IOTはいろいろな問題を解決につなげていくと思う。早く進めないと遅れを取ることになると思う。
	以前にも要望を書いたが返答がないため残念である。
	市政に関心が持ってもらえるように頑張ってほしい。
	若者たちがこの場所で暮らしていける街づくりを進めることが大事な項目の一つである。
	市民の身近な問題をもっと取り上げて、市民が関心もつような議会になってほしい。
	各会派ごとの活動をもっと活発に、若者や働く世代に周知してもらう取組を望む。